



# いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!

Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 43

平成29年12月8日

## 保護者アンケート【記述編Ⅲ】

【A:そ思う B:どちらかというとそ思う C:あまりそ思わない D:そ思わない E:分かんない】  
※評点はA=4~E=0、として算出した数値です。2.5程度で普通、3.0以上であれば大いに評価できる数値だと捉えています。

### 18 部活動の運営は適切であり、子供は部活動に積極的に参加している

No.	A	B	C	D	E	評点(昨年)
18	39.7	42.9	10.3	1.6	5.6	3.1 (3.1)

- ・外のクラブで頑張っております。
- ・バドミントン部を正式な部活に入れてほしい。
- ・家庭等の事情もありスポーツ系は入れたくないところもあり、本人には吹奏楽や美術部の話もしましたが、部活には入らないと本人が言って入りません。
- ・合同チームではありますが、楽しんで部活動に行っています。
- ・仕方ないです。
- ・終わりの時間がルーズ。すごく待つ。道川→車迎え、他→バス。
- ・いた。
- ・美術部はもう少し美術面の指導をしてほしい。一つの作品をきちんと仕上げしてほしい。

※部活動も生徒の大きな目標の一つであることを理解しております。教育課程内のことを最優先した上で、中学生の時期における、適切な活動内容と時間を本荘由利中体連の取り決め事項等を守りながら、考えています。部活動は、教育課程外の活動であるものの、学校教育活動の一環として中学校教育において大きな意義や役割を果たしていると言えます。ただ、学校規模、教員定数、人事異動の関係もあり、部活動の数や種類と指導できる教員の関係をうまく調整できていないのが現状です。県及び市教育委員会にも要望をしています。生徒の力を最大限に引き出せるように可能な限り努力して取り組んでいきたいと思っております。バドミントン部は、本校では部活動的に扱い、対応しているつもりです。しかし、県の中体連には所属していますが、本荘由利の中体連にはバドミントン部が無いので所属できません。所属できたとしても中体連のルールや取り決め事項で活動に制約が生じてきます。そうすると今までのような活動体制ではできなくなります。終わりの時間については、担当、親の会、生徒を通して連絡が入っていると思います。確認をよろしくお願いいたします。指導上のことにつきましては、担当とコミュニケーションを密にさせていただいて進めていってほしいと思います。どうかご理解ください。部活動に対して、親御さん一人一人いろいろな思いをもっておられることでしょう。あくまでも子供達の思いを大事にしながら、子供達にとって有意義な部活動にするにはどうするのがよいのかを、親の会としても考えていただきたいと思っております。運営上のことにつきましても、親の会を通してご相談ください。可能な範囲で改善を図っていききたいと思っております。ただし、近年、生徒数が減っており、職員数も減ってきています。生徒数減は、学級数減につな

がり、教員定数減になります。部活担当可能職員も厳しくなります。合同チームでないと大会等に出場できない部も複数あります。部の存続も課題です。部活動の休部・廃部も視野に入れていかなければならない時期が近付いてきています。これは、学校だけの力ではどうにもなりません。教員の勤務時間の問題もあります。本校職員も例外ではなく、超過勤務が課題です。部活動指導員制度については、秋田県は遅れています。外部コーチについては、無報酬で引率責任者にはなれませんが、お願いしているところです。担当と親の会と連絡を取り、考えていただき、親の会を通してご相談ください。可能な範囲で改善を図っていききたいと思っております。

### 19 学校は、ふるさと教育、キャリア(職業)教育、環境教育、国際理解、福祉・ボランティア等、総合的に学ぶ機会を多く作っている

No.	A	B	C	D	E	評点(昨年)
19	23.8	63.5	7.9	0.8	4.0	3.0↑(2.9)

- ・あるんですか？
- ※望ましい勤労観、職業観の育成や、自己の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指す意欲の高揚を図る教育は、これまでも行われてきましたが、より一層大切になってきています。職場体験は、こうした課題の解決に向けて、体験を重視した教育の改善・充実を図る取組の一環として大きな役割を担っています。特に、生徒の進路意識の未成熟や勤労観、職業観の未発達が大きな課題となっている今日、たとえ自分の就きたい職業・職場でなくても、生徒が実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義を理解し主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など、培うことのできる教育活動として重要な意味をもっていると思っております。

### 20 学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる

No.	A	B	C	D	E	評点(昨年)
20	11.9	64.3	16.7	4.8	2.4	2.8 (2.8)

- ・せめて、ランチルームにエアコンを…。昨年の岩中祭での逸品食堂。あまりに暑くて、子ども達がかわいそう。
- ・トイレ洋式を増やしてほしい。

※本校は創立が昭和57年4月で、開校36周年目です。平成15年に大規模改修を行っています。耐震関係はクリアしていますが確実に劣化はあります。トイレ事情も大切です。2F男子トイレの入り口は何年も前から修理～修理の連続で修理がきかなくなり、ドア枠から交換が必要になっていました。要望を出しても通りません。そこで掘校務員が自作で臨時の処置をしてくれています。熱さ対策もその通りです。ランチルームと図書館も前から訴えており、要望はしております。施設設備に関しては市の考え方と方針が決まります。学校からは最大限、市に要望はしております。



## 21 学校は地震や火災などへの対応や不審者対策も含め、事故防止に配慮している

No.	A	B	C	D	E	評点(昨年)
21	29.4	61.1	4.8	1.6	3.2	3.1↑(3.0)

- ・避難訓練などは、こまめにやってこそ身に付くと思います。
  - ・学校メールにより、様々な情報や安全対策を喚起してくれる。
- ※危機管理につきましては、色々な場面を想定して考えておくことが万が一の時に対応できることにつながると考えております。訓練は年最低3回は行っています。防犯カメラは設置されております。職員室で管理しております。常に全職員で気を配っております。特に男子校務員は校内外をよく見回ってくれております。最近では北朝鮮のミサイルが問題です。国・県・市の対応方針をもとに学校も対策を講じていかなければなりません。メールについては可能な限り発信していきたいと思っております。

## 22 PTA活動は、回数・内容など適切であり参加しやすい

No.	A	B	C	D	E	評点(昨年)
22	24.6	59.5	12.7	0.8	2.4	3.0↑(2.9)

- ・行事、多すぎます。
- ※「PTAは、児童生徒の健全な成長を図ることを目的とし、親と教師とが協力して、学校及び家庭における教育に関し、理解を深め、その教育の振興につとめ、さらに、児童生徒の校外における生活の指導、地域における教育環境の改善、充実を図るため会員相互の学習、その他必要な活動を行う団体です。(昭和42年6月23日文部省社会教育審議会報告)よりよいPTA活動の方向に改善していただければと思っています。

## 14日はLIFEの発表会です!

本校の総合的な学習の時間「LIFE」では、一人一人が自分の課題に向かって意欲的に取り組んでいます。大きなテーマは、1年生:「地域に生きる」、2年生:「社会に生きる」、3年生:「自分らしく生きる」です。発表会では多彩にプレゼンテーションをする予定です。今年度は、**12月14日(水)の5~6校時**に、校内10会場で同時に行います。これも岩中の目玉の一つになっています。お子様の発表予定時間等は、学級通信等で出されると思います。キャリア教育・進路学習の一環です。是非都合をつけて、「意和氣の力と心」、生徒の活躍をご覧になってほしいと思います。

【昨年の様子↓】



# 岩中生の活躍

## 数学検定

※1次:計算技能、2次:数理技能

※○数字は学年

【3級】

池田 \*③ 大友 \*\*③ 今野 \*\*③  
 佐々木 \*\*③ 佐々木 \*\*③ 佐々木 \*\*③  
 白井 \*\*③ 徳山 \*\*③ 吉田 \*\*③  
 吉田 \*\*③ 佐々木 \*③ 佐々木 \*\*③  
 田口 \*\*③ 伊藤 \*\*③ 齋藤 \*\*③

【3級1次合格】

藤本 \*\*③

【4級】

藤本 \*② 佐藤 \*\*② 浅野 \*\*②  
 工藤 \*\*② 佐藤 \*②

【4級1次合格】

間杉 \*\*③ 相田 \*②

【5級】

遠藤 \*\*②

## 県学習状況調査

後期の中間テストに続き、7日(木)には、学習における県大会が行われました。立て続けの度重なるテストに生徒達は氣力で取り組んでいました。結果は後ほどわかりますが、ホッとしたことでしょう。お疲れ様でした。



## ツウエイ two-way

・3年生に、補習は必要だと思う。(長期休みは特に)可能であれば、習熟度別にクラスをわけて補習をしていただきたいです。→日々の学習時もちろん、岩中タイムで確認テスト(基礎的・基本的内容)を行い個に応じた対応をしたり、定期テストについては、テストの意義、テスト範囲、対策、テスト結果の解説、次への対策等々、時には個に応じて、生徒への指導を行っているつもりです。長期休みには各家庭の事情もあり強制はできませんが学習会や学習場所の提供をして学習相談に応じています。心配なことがあれば担任・主任に遠慮なさらず相談してください。